

9月定例会

ゆゆうすい 議会だより

平成23年11月15日発行 第28号



| | |
|-------------|----|
| 一般会計補正予算 … | P2 |
| 議決一覧 …………… | P4 |
| 陳情 …………… | P5 |
| 一般質問 …………… | P6 |
| 平成22年度決算 …… | P8 |

＜棚田稲刈風景＞

直営林管理委託料

森林整備・林業木材産業活性化推進事業の補助事業採択を受け、町有林の間伐を行う委託料です。



住宅管理修繕料



宮前団地

公営住宅の老朽化に伴い網戸等の修繕を行うものです。

林道等災害復旧工事費

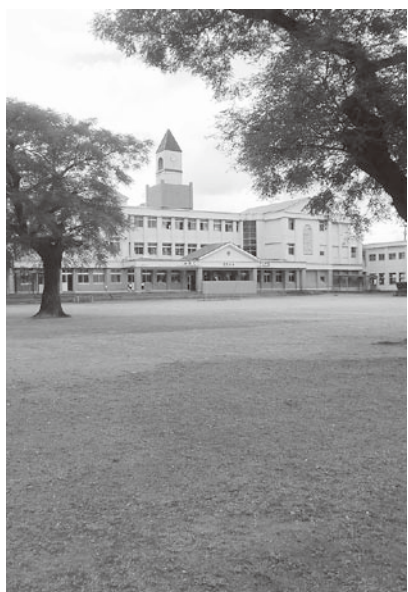
6月の豪雨災害により被災した林道等を測量設計結果に基づき、早期復旧を図るためのものです。



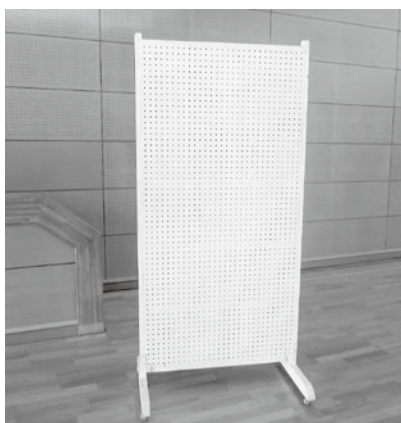
林道山ノ口線

小学校施設整備工事費

栗野小学校屋外運動場の教育環境の整備を行うためのものです。



文化振興事業用備品購入費



県のコミュニティー助成事業の事業採択を受けたことに伴い、不足している展示用パネル等を購入するためのものです。

道路等災害復旧工事費

6月の豪雨災害により被災した公共土木施設の早期復旧を図るためのものです。



町道中野線

平成23年

第3回定例会

一般会計補正予算1億2,368万1,000円可決



総額76億567万1,000円に

第3回定例会は9月7日招集され、10月11日までの35日間の会期で開催されました。

今定例会では、平成23年度一般会計、特別会計及び水道事業会計の補正予算のほか、条例改正等や平成22年度の各会計の決算をそれぞれ可決、認定しました。

また請願1件、陳情2件のうち1件を採択し、議員発議の意見書2件を可決しました。一般質問では、議員2名が2項目について質問しました。

町有財産等整備工事費

信栄製作所跡地の一部をイベント等に駐車場として利用できるように整備するものです。



生活改善センター設備等取替工事費



吉松中央生活改善センター

落雷により故障し、修理不能となった蒸気ボイラーを取り替えるためのものです。

森林整備・林業木材産業活性化推進事業補助金

林業の生産コストの低減と収益性の向上を図るために北始良森林組合が導入する高性能林業機械の補助として計上するものです。



こんなことが 決まりました

| | 議案 | 提案理由等 | 結果 |
|--------|---|--|------|
| 報告第2号 | 湧水町土地開発公社の経営状況の報告について | 地方自治法第243条の3第2項の規定により、湧水町土地開発公社の経営状況について報告するもの。 | - |
| 報告第3号 | 平成22年度湧水町健全化判断比率の報告について | 地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定に基づく、平成22年度湧水町健全化判断比率の4指標を報告するもの。 | - |
| 報告第4号 | 平成22年度湧水町水道事業会計資金不足比率の報告について | 地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定に基づく、平成22年度湧水町水道事業会計資金不足比率を報告するもの。 | - |
| 認定第1号 | 平成22年度湧水町一般会計歳入歳出決算の認定について | 歳入 81億7219万2096円 歳出 76億4859万9880円 差引 5億2359万2216円 | 認定 |
| 認定第2号 | 平成22年度湧水町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 歳入 15億3448万99円 歳出 14億5745万6842円 差引 7702万3257円 | 認定 |
| 認定第3号 | 平成22年度湧水町老人保健事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 歳入 67万2996円 歳出 67万2996円 差引 0円 | 認定 |
| 認定第4号 | 平成22年度湧水町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 歳入 11億5526万2513円 歳出 11億4781万4520円 差引 744万7993円 | 認定 |
| 認定第5号 | 平成22年度湧水町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 歳入 1億2836万335円 歳出 1億2820万8035円 差引 15万2300円 | 認定 |
| 認定第6号 | 平成22年度湧水町水道事業会計歳入歳出決算の認定について | 給水収益 1億6280万5202円 当年度純利益 559万3126円 | 認定 |
| 議案第47号 | 町道路線の廃止について | 町道網の整備を図り地域住民の利便に供するため2路線を廃止する必要があるため、道路法第10条第3項において準用する同法第8条第2項の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。 | 原案可決 |
| 議案第48号 | 町道路線の認定について | 町道網の整備を図り地域住民の利便に供するため4路線を認定する必要があるため、道路法第8条第2項の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。 | 原案可決 |
| 議案第49号 | 湧水町報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | スポーツ振興法の全部改正によりスポーツ基本法が公布されたことに伴い「体育指導委員」の名称を「スポーツ推進員」に改めるもの。 | 原案可決 |
| 議案第50号 | 湧水町税条例等の一部を改正する条例の制定について | 現下の厳しい経済状況及び雇用情勢に対応して税制の整備を図るため、所要の改正をしようとするもの。 | 原案可決 |
| 議案第51号 | 湧水町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 災害弔慰金の支給等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の改正をしようとするもの。 | 原案可決 |
| 議案第52号 | 平成23年度湧水町一般会計補正予算（第4号） | 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億2368万1000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ76億567万1000円とするもの。 | 原案可決 |
| 議案第53号 | 平成23年度湧水町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号） | 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1392万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ15億8776万2000円とするもの。 | 原案可決 |
| 議案第54号 | 平成23年度湧水町水道事業会計補正予算（第2号） | 落雷に伴う営業外収益の建物共済保険金の増額や事業執行等に伴う営業費用の増減、道路改良工事に伴う町道四ツ枝永山線水道管布設工事費に係る補正が主なもの。 | 原案可決 |
| 請願第1号 | 地方消費者行政を充実させるため、地方消費者行政に対する国による実効的支援を求める意見書を政府等に提出することを求める請願書 | P 5 参照 | 採択 |
| 陳情第1号 | 霧島演習場の騒音・人権・生活環境等の近隣住民理解周知の嘆願書 | P 5 参照 | 不採択 |
| 陳情第5号 | 川内原発増設計画の中止などを求める陳情書 | P 5 参照 | 採択 |
| 発議第3号 | 地方消費者行政を充実させるため、地方消費者行政に対する国による実効的支援を求める意見書 | P 5 参照 | 原案可決 |
| 発議第4号 | 川内原発増設計画の中止などを求める意見書 | P 5 参照 | 原案可決 |



私の陳情書

地方消費者行政を充実させるため、地方消費者行政に対する国による実効的支援を求める意見書を政府等に提出することを求める請願書

請願者：始良伊佐労働者福祉協議会 会長 片野坂 重治氏
紹介議員：仮屋 良二 議員

湧水町議会が、国会及び政府に対し、地方消費者行政に対する国による実効的支援を求める意見書を関係機関等に提出していただきたいとするもの。

採 択

国による地方消費者行政に対する実行的財政措置の必要性、具体的な制度設計の提示の必要性、消費者生活相談員の地位・待遇の向上を可能とする制度整備の必要性など、速やかな制定を要望することは理解できる。

※採択により、衆参両議長、関係各大臣宛てに意見書を提出しました。

霧島演習場騒音・人権・生活環境等の近隣住民理解周知の嘆願書

陳情者：湧水町川添 竹中 勝雄 氏

特定防衛施設周辺整備事業調整交付金の使途について、以下の要望事項の検討及び速やかな対応を希望するもの。

- ・基地周辺の特に関係深き住民の声を無視或いは、個人的な問題に率直に耳を傾け、これを排除することのないようにすること。
- ・基地周辺の民生安定の基準に極近隣のライフライン（道路や水道等）に対しての調整交付金の取扱いに付いて直接関係ある住民の家屋、畜産施設の防音化等の対策を支援すべく、見直しを行い関係者と協議し善処すべきこと。

不採択

陳情者を参考人として招致し、意見を聞き、また現地調査を行い、騒音・道路・特に水道のライフラインの現状を調査し、現在の状況や心情を理解しました。

陳情者の気持ちは理解できるが、この交付金事業の補助対象となるには厳しく、現在のところ可能性が低い。

川内原発増設計画の中止などを求める陳情書

陳情者：湧水町川西 平谷 和文 氏

今回発生した津波による福島原発事故に伴い下記4項目について鹿児島県知事へ意見書を提出していただきたいとするもの。

1. 手続きを凍結している川内原発3号機増設計画を白紙撤回し、中止すること。
2. 川内原発の定期点検後の稼働については、九電が「緊急安全対策」として平成26年度初めまでの完了をめざしている重要機器の防水対策などの実施と、福島第一原発事故の事故原因の究明とそれを踏まえた政府による抜本的な安全対策を行った後、避難対象となっている地域を参考にして想定し得る関係自治体・議会及び住民の了解を得ること。
3. 九州電力内の全ての原発が停止しても最大電力需要時に対応する供給力が十分にあり、アジア諸国の電力事情を踏まえ「電力事情」を理由にした企業の海外進出はありえないことを明らかにすること。併せて、社会全体の省エネを促進し、ガスなどのエネルギーの多様化を推進すること。
4. 福島第一原発などの事故を踏まえてEPZ（防災対策を重点的に充実すべき地域の範囲）の大幅な拡大や防災訓練などを抜本的に見直すとともに、モニタリングポストの地震・津波対策や第二オフサイトセンターを川内原発から30^{キロ}以上遠に移設するなど、防災体制を抜本的に強化すること。

採 択

福島第一原発などの例からみて、原発事故が起きると、その被害の大きさと甚大な経済的損失、健康被害など考慮すると川内原発増設には反対である。

※採択により、鹿児島県知事へ意見書を提出しました。

を問う

ここが聞きたい!



綾織 まち子 議員

水害対策と災害時避難の在り方は

住民の自主防災活動が必要

綾織 阿波井堰改修完了後、井堰下流（栗野地区）においては、

一時的に流量が増大しますが、現状を上回る内水被害を発生させないためにも下流域の更なる流量拡大対策を講じるべきだと思いますが町長の考えを伺います。

町長

阿波井堰改修に伴う下流域の改修計画については、轟橋上流二渡地区寄洲除去や轟橋下流の河道掘削が計画されております。

綾織

須屋川、桶寄川、湯谷川等の内水氾濫により多くの住民が床上浸水被害にあつて、困り果てています。川内川本線がスムーズに流れ、被害が起きないように、行

政及び関係機関にも働きかけて頂きたいが、町長の考えを伺います。

町長

上流の阿波井堰改修に伴い段階的に流下能力を増やす対策と下流の轟の瀬における対策をバランスよくやっていきます。また可動井堰設置後の操作について、きちんと考えながら国土交通省に操作のことを考えていつてもらいたいと思います。

綾織

水田の時期、北方に優先的に水が流れるか伺います。

町長

北方水田の慣行水利権から許可水利権に同意されたことにより阿波井堰が改修されるので水がいかない

ことは絶対に無いです。

綾織

近年の異常気象により突発的豪雨のため水害発生危険性が高まっていますが、対応できる避難体制は確保されているのか伺います。

町長

水害時に町が行う避難措置は、湧水町地域防災計画に基づき避難準備、避難勧告、避難指示の3段階に分けて実施していますが状況により直ちに避難勧告、避難指示を行います。自分たちの身体、生命、財産、地域は自分たちで守るという自助、共助、公助の精神と連帯感に基づく自主防災活動が必要です。

町指定の避難所も床上浸水したり

綾織

町指定の避難所も床上浸水したり

して危険な箇所がいくつかあります。再度検討する必要がありますのではないかと考えを伺います。

町長

冠水被害対策で避難道路、避難する場所などがすべて網羅されておりますので、その辺に基づいてもう一回現在決まっております避難所等については再検討する必要があると思います。



役場吉松庁舎

湧水町吉松庁舎付近浸水状況



境田 公明 議員



町政

消防の広域化の進捗状況は 協議の方針が提案され承認

境田 始良伊佐地域消防組合の広域化について進捗状況を踏まえ町長の考えを伺います。

町長 鹿児島県消防広域化推進計画に基づき、消防広域化の

基本的な項目について協議するため、平成22年10月に「始良・伊佐地域消防広域化運営協議会」を設置し、これまでに4回の協議会が開催され、具体的な協議に係る協議方針が提案され、承認されたところですが、

境田 始良伊佐地域消防広域化運営協議会の委員の構成の中には現場を知る消防の職員や協議会の事務局に県職員の派遣の必要性はないか伺います。

町長 消防職員の意見等については、首長、一部事務組合の中で意見の集約をしております。県職員の事務局派

遣については、県職員は県の考えを進めてくるので、この消防の広域化の問題は、自分達の地域は自分たちで考えて進めていく。そのような考え方で進めていく考えです。

境田 提案された協議会の内容はどのようなものか伺います。

町長 協議会の内容は、事務局サイドで99項目を準備しているが、これから協議会で協議していきますが、原則として、一体制、住民サービス、負担の公平、適正規模の確保や、合併後は健全な財政運営などです。

境田 ト・デメリットがあると思うが、下場地区では高度資機材のほしご車を今後導入をする予定であるようです。山間部地域では、救急救命のため、高規格救急車の導入もはしご車同様に進めて

いくべきと思います。消防業務がたとえ縮小されても、救急業務の質の向上がなされなければ広域化のメリットがないと思います。ですが町長の見解を伺います。

町長 負担比率の問題もありませんが、私もそのように救急業務は残したいと思えます。非常備消防の充実強化が重要になってくると思えます。

非常備消防の強化について

境田 機能別消防団、災害時におけるバイク隊、OB団員の活用、

役場職員の団員等の導入は考えられないか町長に伺います。

町長 バイク隊はえびの市にあるが、地形など状況が違ふと思います。OBの活用については、災害時の補償制度など確立してから検討をしたい。地域で防災の指導などしてもらえばよいのではないと思えます。役場職員の団員は法律の改正が必要です。消防広域化の動きがはっきりしないので現在は考えていないが、無線の配置対策など方向性がはっきりしてから非常備消防の強化については考えていきたい。



えびの市役所 提供

での会計を認定



予算はどう

決算審査特別委員会審査報告

活かされたのか

平成23年第3回定例会におい

て、平成22年度歳入歳出に係る

決算の認定に付する議案が上程

され、決算審査特別委員会を設

置。それぞれの会計の予算執行

状況と施策の成果について、審

査を実施しました。

審査の着眼点

予算が目的に従って適正かつ

効果的に執行できたか。

どのような行政効果が発揮で

きたか。また、改善工夫がどの

ようになされるべきか等。

審査期間

平成23年9月13日

～9月27日

決算審査

特別委員会委員

委員長

綾織 まち子

副委員長

森山 マスミ

委員

境田 公明

池上 滝一

飯屋 良二

山口 忠人

審査場所

吉松庁舎

2・3委員会室

及び現地調査

平成22年度 すべ

(円)

| | 一般会計 | 特別会計 | | | |
|--------------|---------------|---------------|---------|---------------|-------------|
| | | 国民健康保険 | 老人保健 | 介護保険 | 後期高齢者 |
| 歳入総額 | 8,172,192,096 | 1,534,480,099 | 672,996 | 1,155,262,513 | 128,360,335 |
| 歳出総額 | 7,648,599,880 | 1,457,456,842 | 672,996 | 1,147,814,520 | 128,208,035 |
| 差引額 | 523,592,216 | 77,023,257 | 0 | 7,447,993 | 152,300 |
| 翌年度に繰り越すべき財源 | 234,253,000 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 実質収支額 | 289,339,216 | 77,023,257 | 0 | 7,447,993 | 152,300 |

| 水道事業 | 収益的 | | 計 | 資本的 | | 計 |
|------|-----|-------------|-------------|-----------|------------|-------------|
| | 収入 | 支出 | | 収入 | 支出 | |
| | | 187,050,257 | 178,810,130 | 8,240,127 | 99,138,597 | 153,797,824 |

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額54,659,227円は、過年度分損益勘定留保資金で補てん

審査結果の概要

平成22年度湧水町一般会計・特別会計歳入歳出決算について、主要成果説明書・決算書・審査資料等に基づいて、現地調査を含め7日間の審査とそれぞれの事業に対する調査を行いました。

特に22年度は、地域活性化・きめ細やかな臨時交付金等の活用により、充実した事業が各所で取り組まれており、経済効果が現れてきております。

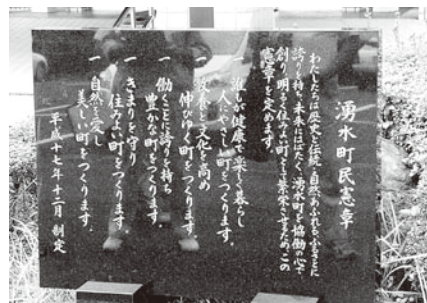
また建設事業に関する現地調査においても、当初の計画通り完成し問題ありませんでした。予算執行状況・財政運用状況も当初予算編成に基づき、効率的に執行され、概ね良好であると認定すべきものと決定いたしました。

平成22年度 決算審査主要事業一覧

湧水町町民憲章石碑作成委託

事業費 119万2,000円

内容 湧水町誕生5周年記念事業として、両庁舎、両中央公民館に町民憲章石碑を設置し、町民憲章の周知を図ったものです。



御手洗団地工事請負費

事業費 132万7,000円



内容 御手洗団地において、子育て世帯が多く入居していることから、隣接地への転落防止柵（延長43m、高さ1.5m）を設置した。また、周辺の町有地を駐車場として活用できるように屋外階段を設置し、有効な土地利用がされたものです。

消防施設整備事業

事業費 2,142万5,000円

内容 住宅地の拡大や未整備地域に防火水槽を整備することにより、消防力の向上を図り安心安全な町づくりを目的に整備したもので、年次計画に基づき22年度は耐震性貯水槽（40㎡型）を米永地区、轟地区、老竹地区、北方地区で整備したものです。



米永地区王ノ山

無線システム普及支援事業補助金

事業費 134万4,000円



楠辺共同アンテナ

内容 地上アナログテレビ放送の難視聴解消を目的として設置された共同受診施設を地上デジタルテレビ放送対応の施設に改修する経費を助成したものです。

質疑 関係組合員の世帯数と組合員の負担額はいくらか。

答弁 世帯数15世帯で負担額は24万4千円です。

県費単独補助治山工事

事業費 502万2,000円

内容 川添矢立地区内の山林の崩壊を防止し、森林の機能を復元するとともに、周辺地域の被害拡大防止を行ったものです。

質疑 施工後、施工区外の流末水路については、どのように処理されたのか。

答弁 関係者とも協議し、対策を検討中であります。



ため池改修工事 王ノ山池

事業費 1,904万5,000円



内容 王ノ山池は、農業用水としての機能はもとより洪水調整機能を有している。近年堤体から漏水が見られ、下流域には住居や工場もあることから防災面も考慮し改修工事を実施した。改修工事を実施することで、用水の安定的な供給が図られるとともに、洪水等における調整機能が高まり、周辺地域への災害の危険性も少なくなったものです。

(交付金) 下場土地区画整理事業

事業費 9,477万4,000円

内容 駅前通線を幅員17mに改良舗装工事を行うことにより、従来の問題点を緩和することができた。また、沿線の建築物移転及び周辺整備により住環境を整備したものです。

質疑 場所によっては家の建たない箇所も数多く見受けられるが今後の対応は。歩道レンガはコストが高つくのではないか。

答弁 補償費は建物移転に支払うもので家を建てるかどうかは、本人の意思であります。推進を図っています。
駅前通りは、町のメイン道路であり、レンガ舗装をしましたが、今後は、低コストのアスファルト舗装等で考えております。



栗野駅前

栗野中学校屋内運動場改築工事

事業費 3億9,529万2,000円



内容 平成19年度実施した耐力度調査の結果、基準値を下回った栗野中学校体育館の改築（建替え）、更に体育館周辺の外構工事や渡廊下工事等を行ったもので、学校教育の環境を整備したものです。

吉松小学校屋外運動場整備工事

事業費 4,646万5,000円

内 容 吉松小学校の屋外運動場の整備を行うことにより、屋外での教育環境を整備したものです。

質 疑 運動場整備の工法はどのようなものか。

答 弁 ソイルサンド工法といい、真砂土に塩化ナトリウムを混ぜ、転圧し表面を硬化させる工法です。また、暗渠排水として、表面から地中平均45cmの位置に排水管を配置し、浸透した雨水を排水する工法です。



シルバーケアセンター屋内ゲートボール場改修工事

事業費 483万円



内 容 シルバーケアセンター屋内ゲートボール場の屋根の高圧洗浄及び屋根・鉄柱の塗装，スレート固定金具の取替えなどを行い施設を整備したものです。

地域経済活性化販売促進緊急支援事業

事業費 1,049万5,000円

内 容 宮崎県で発生した口蹄疫により、商工業者の売上が減少したため、消費を喚起する手段としてプレミアム商品券を発行し、地域の消費に対する活性化を図ったものです。



大原ふれあい農園改修

事業費 198万円



内 容 貸農園として利用者が少なくなったため、不特定多数の方が利用できるようにグラウンドゴルフができる多目的広場として整備したものです。

質 疑 使用開始の時期，利用状況，施設の維持管理はどのように考えているのか。

答 弁 まだ芝生が活着していないので，平成22年度は砂で地面を調整し，平成24年度からの実施を考えています。また，管理については，当分の間は商工観光課で管理していきたいと考えております。

畜産防疫事業

事業費 4,333万8,000円

内 容 宮崎県で発生した口蹄疫に伴い、農家への助成を行ったことにより、農家経営の圧迫を軽減し、農家の経営安定と生産意欲の保持が図られたものです。

質 疑 口蹄疫支援事業助成金を交付することにより口蹄疫による本町への影響についてどの程度対応できたものか。

答 弁 助成金につきましては肉用子牛に関わる分が多く、本町は出荷遅延により肉用子牛1頭・月2万円の助成を行っており、ある程度の対応はできたものと考えております。

図書購入事業

事業費 865万2,000円

内 容 利用者の拡大と読者活動を推進するため、新刊図書・リクエスト図書・DVD等を購入し、図書館資料の充実とサービスの向上が図られたものです。

質 疑 貸出本が返却されない場合の対応はどうしているのか。

答 弁 電話・ハガキ等により連絡を取り催促等を行っています。また紛失本・汚損等の状況についても利用者に内容を説明し、最終的には購入単価で弁償をしてもらっております。

平成22年度財政状況の総括

平成22年度の本町の財政構造は、自主財源24.09%、依存財源75.91%となっており、依存財源のうち地方交付税は、51.02%であり、自主財源を大きく上回っていますが、経常収支比率前年度対比3.5%減の83.8%、実質収支前年度対比0.4%減の6.1%で、財政状況は好転しており、財政努力が伺われます。

また、地方債残高も前年度対比9,372万3千円減少し、93億5,987万8千円となっております。

これは年度内借入額を当該年度地方債元金償還額を上回らない額に押さえる努力をして確実に地方債残高減につなげているものです。一方基金は、国のきめ細やかな臨時交付金等を有効に活用し、基金の取り崩しは行わず、その総額は、28億729万7千円となっており、前年比1億8,556万9千円の増となっております。

これらを総合的に判断しますと依然として厳しい財政運営状況ではありますが、合併後、確実に好転してきており、財政努力が評価できるものと判断いたしました。今後は、経常収支比率の推移、町税等の動向を見極め、諸経費の節減に努め、将来を展望した計画的な行政運用により健全財政の維持を望むものです。

議会の動き (平成23年7月～9月)

| | | | | | | | |
|----|-----|---|---|----|-----|---|---|
| 7月 | 5日 | 火 | ・議会運営委員会 | 8月 | 12日 | 金 | ・議員全員協議会 ・第3回議会臨時会 ・平成23年度鹿児島県後期高齢者医療広域連合議会第1回臨時会 |
| | 6日 | 水 | ・議員全員協議会 ・広報編集委員会 ※7月28日まで | | 17日 | 水 | ・始良伊佐議長会研修会・交流会 |
| | 12日 | 火 | ・伊佐北始良環境管理組合県外研修※7月13日まで | | 19日 | 金 | ・議員全員協議会 |
| | 20日 | 水 | ・議会運営委員会 ・全員協議会 ・陸上自衛隊第24普通科連隊・えびの駐屯地存続に係る要望会 | | 22日 | 月 | ・議員全員協議会 |
| | 26日 | 火 | ・えびの駐屯地存続期成同盟会要望活動※7月27日まで | | 25日 | 木 | ・議会運営委員会 |
| | 27日 | 水 | ・正副議長研修会 ※7月28日まで | | 30日 | 火 | ・伊佐北始良環境管理組合定例会 |
| | 28日 | 木 | ・議会運営委員会 ・全員協議会 | | 31日 | 水 | ・介護保険組合議会 ・議会広報研修会 |
| 8月 | 5日 | 金 | ・議員全員協議会 ・市町村政研修会 | 9月 | 5日 | 月 | ・議会運営委員会 ・議員全員協議会 |
| | 8日 | 月 | ・第1回湧水町議会報告会 | | 7日 | 水 | ・議員全員協議会 ・第3回議会定例会 本会議 ・決算審査特別委員会 |
| | 9日 | 火 | ・始良・伊佐地域消防広域化運営協議会 ・第1回湧水町議会報告会 | | 8日 | 木 | ・各常任委員会※9月9日まで |
| | 10日 | 水 | ・議会運営委員会 ・第1回湧水町議会報告会 | | 13日 | 火 | ・決算特別委員会 ※9月27日まで |
| | 11日 | 木 | ・第1回湧水町議会報告会 | | 22日 | 木 | ・本会議 ・議員全員協議会 |
| | | | | | 29日 | 木 | ・伊佐湧水消防組協議員全員協議会 |

ゆうすいの花



ツリフネソウ

(撮影地 川添地区)

釣船草の意味で、花の形が帆をかけて船を吊り下げた形に見えるのでこの名がある。山地や原野のやや湿った所に生える柔らかな一年草。



県内外からの研修視察

10月12日(水)
佐賀県三養基群町村議会議長会6名
中種子町議会運営委員会9名の方々
が来庁され、議会活性化を目的に、本町議会が開催した議会報告会について研修されました。

傍聴にお越しく下さい。

次の定例会は12月上旬予定

編集後記

朝夕の空気も冷たく感じ
黄金色をした稲穂も一時の
間に刈り取られる風景が見
られるようになりました。

9月定例会は、22年度決
算審査を主に各事業の結果
と成果を検証し、次年度に
生かすように行政に働きか
けました。

各定例会は、それぞれに
特色があります。町民の皆
様に議会を傍聴していただ
き議会の緊張感を感じてい
ただけたら幸いです。

(境田)

議会広報編集委員会

- 委員長 飯屋良二
- 副委員長 境田 公明
- 委員 綾織まち子
- 同 宮里 廣昭
- 同 森山マスマ
- 同 篠原三千人

